

ともに生きる

ドキュメンタリードラマ 命のバトン

～赤ちゃん縁組がつなく絆～(前・後編)

放送日:2021年11月18日 放送時間:50分×2



対象校種 中学校 高校

対象教科 総合 道徳 学級活動

この番組の良さ



● 命の尊さと多様な家族の形を伝える

番組は、思いがけず妊娠した高校生の結が、誰にも言えず絶望していたところ、児童相談所の職員・千春に出会い、自分で産み育てるかどうかわ迷いながら、命と向き合っていく姿を描きます。

ドラマと本物の養子縁組家族のかけがえのない瞬間を捉えたドキュメント映像を組み合わせ、命の尊さと多様な家族の形を伝えてくれます。

● 予期せぬ妊娠でも救われる親子

この番組は、2021年にNHK名古屋で制作されました。愛知県で2020年6月に起きた20歳の女子学生が公園トイレで出産し赤ちゃんを遺棄する事件が起きました。愛知県には“予期せぬ妊娠”をした女性たちに寄り添い、どうしても自分で育てられない場合に育ての親に託す“赤ちゃん縁組”制度があったにもかかわらず、赤ちゃんを救うことができませんでした。

赤ちゃんも女性も救う方法があることを知って欲しい。“小さき命”を、相談できず孤立した女性達を守るためにこのドラマが作られました。中高生をはじめ、どの世代の人にも見て欲しい番組です。

番組活用のポイント

● 「いのち」の教育の教材として

虐待で死亡する子どもは、「生後0歳0か月0日の赤ちゃん」が最も多いということを知っていますか？この虐待死・遺棄死を防ぐ切り札の一つとして、注目されているのが赤ちゃん縁組(新生児特別養子縁組)です。愛知県の児童相談所が30年以上前から先進的に実践してきた取組で、『愛知方式』と呼ばれています。この場合、生みの親が縁組に託す意思表示をすると生まれてすぐから、育ての親のところで育児が始まります。

この赤ちゃん縁組を背景に、予期せぬ妊娠から生みの親となる女子高生の心の葛藤、決意。そして子どもを受け入れる育ての親の思い。さらに子どもの思春期に起きる葛藤に、それぞれの親が向かう覚悟など、様々な思いが番組では丁寧に描かれています。

また、ドラマには実際に赤ちゃん縁組で結ばれた家族のかけがえのない瞬間を捉えたドキュメンタリー映像もふんだんに織り込まれています。日本の社会でも、早くこうした新しい家族の形が一般的になることが望まれます。

● 命のバトンに関連した番組

ティーチャーズ・ライブラリーに、ETV特集『小さき命のバトン』があります。熊本の慈恵病院の赤ちゃんポスト「このとりのゆりかご」や「赤ちゃん縁組」の取組を取材した番組です。あわせて活用すると、さらに効果的な授業展開となるでしょう。

● 予期せぬ妊娠をしたときのために

下記の窓口があることも紹介してください。
「全国のにんしんSOS窓口」(全国の妊娠SOSネットワーク)
<https://zenninnet-sos.org/contact-list>



執筆者
松江市立義務教育学校 玉湯学園
教諭 瀬崎邦博